

ISETAN
JAPAN
SENSES

TOKYO “トキヨー・サマー・マッドネス” SUMMER MADNESS

または：私は如何にしてシャツを脱ぎ、
ゆかたを着るようになったのか？

Or: How I learned to stop wearing a shirt
and love the YUKATA

会期：7月25日(水)～31日(火)
会場：伊勢丹新宿店
本館1階＝ガラスード
本館7階＝呉服・催物場

ISETAN

TOKYO SUMMER

“10デザイナーズ∞ゆかた注染”

技術とは、使われることで実力を発揮する生き物。
デザインとは技術があることでものを産み出す想像力。

技術とデザイン、それは互いがあって初めて存在できる共存=coexistenceの関係。
伊勢丹を舞台に東京から世界を羽ばたく10人のデザイナー達が思い描く線を、
日本が誇る伝統の染色法である注染が形にした。共存の産物としての新しいゆかた。

デザイナーが削り上げた柄に酔い、注染が産み出した色に踊る。
夏の街をゆかたが彩る、トキオ・サマー・マッドネス。

Technique is a creature who shows her ability when called upon.

Design with technique is imagination come to life.

Technique and design: co-existence that begins first only after mutual presence.

Isetan introduces new YUKATA; co-existence of ten flourish designers' vision and Japan's grand dying technique, CHUSEN.

Intoxicating designers' patterns and dancing,

rich colors born of the CHUSEN.

YUKATA will grace this summer town:

Tokyo Summer Madness



FERMAADNESSES

“トニーキョー・サマー・ワッドネス”または、私は如何にしてシャツを脱ぎ、ゆかたを着るようになったのか？

Or: How I learned to stop wearing a shirt and love the YUKAIA



UNDERCOVER

着物のバナーとというのは反物が直線で作られているし、生地幅も西洋と違うという限られた範囲の中で表現しなければならぬのが新たな一面でいつもと違うアプローチというのが面白いというか。色々トライしてみても、結果自分が着たときに色々盛り込み過ぎたものを果たして着るのか？アランビタをどこで着るか？というのを考えて、オーソドックスにはロビをソックスに入れるというのが、バランスとしてまとまるのかなと、そして帯の配色やゲタをどう合せていくのか、それをどうミキソブルにすればまとまるのかというのを考えて作った。

自分が想像するのは出かけるときに着るとかそういうことではなくて、普段の生活の一部として着られるもの、装飾的なものを着てどこまでリアルに着てもらえるかなと考える作業だったもの。普段着として自分も履くとしたら日常に取り入れられるといいなと、今は少ないけど昔は誰かに着ている人が多かったわけだから、敢えて着崩さずにはまっとうに着てもらいたいと思ってる。和服に関しては、ゲタとソックスとか、よく見ると不思議なコーディネートかもしれないが伝統的な着方だと思ふ。

[左頁]ゆかた:39,900円(備100%)M・L)
番:24,150円(49%エスラム100%)

[右頁]下駄:15,750円

新宿店本館1階=サ・スラー・シ・ソ・ソ・カパー

Profile:

UNDERCOVER

デザイナー:高橋盾

1994年秋冬東京コレクションに初参加。

2001年、毎日ファッション大賞受賞。

2003年春夏コレクションは丸の内丸の内を

へリに移す、東京を代表するブランド。

“

自分が想像するのは出かけるときに着るとかそういうことではなくて、普段の生活の一部として着られるもの、装飾的なものを着てどこまでリアルに着てもらえるかなと考える作業だったもの。

I imagine for my design is not something to wear when going out, but something for real life, how deep in everyday life will the design be worn.

”

一番大事なと思うのはね、こういう派手な服は
恥ずかしそうに着るのが一番格好悪いし、
自信なさげに見える。堂々と着て欲しいね
It's too unsylish to be shy
when wearing such cloths...be grand.

“ ”



GB

和服っていうのは日本人にとっては生活の一部だからファッションには中々成り難いって思ってた。ただ今回の話が来たときに、「ああゆかただね、臭がいいじゃない」と思ってた。たのら自分が着られるものにしてはかなと、自分の家の近くでは神宮の花火大会があるから着ていきたいな。てね、行くとは結構着てるんだよ、ゆかたを。

余り難しいことはしたくなかったの、柄は好きなユニオンジャックにしようって思ったんだけどトリコロールじゃ派手だと(笑) これじゃ俺も着られないぞってね、それでクラクラッシュとかと見たからクルーを選んだ。もっとうすむかと思ってたんだけど結構色が出たね、これを何度か洗ったらいいのかな。

自由に着て欲しいけど、バナー帽とかボルサリーノとかそういうのがあうのかな。それに軍服で、それでもさうとう目立っちゃうよ。一番大事なと思うのはね、こういう派手な服は恥ずかしそうに着るのが一番格好悪いし、自信なさげに見える。堂々と着て欲しいね。

ゆかた: 39,900円

(綿100%/NY-L(他ズボン風開)

帯: 15,750円 | 表地: 綿100%/

裏地: 未リエンサラム100%

寸数: 26.250円

新宿店本館1階=サマナーショウビー



Profile:

GB

デザイナー: 梶野 圭介

1991年に2年滞在、帰国後

スウェーデンの友人の家に滞在し、東京

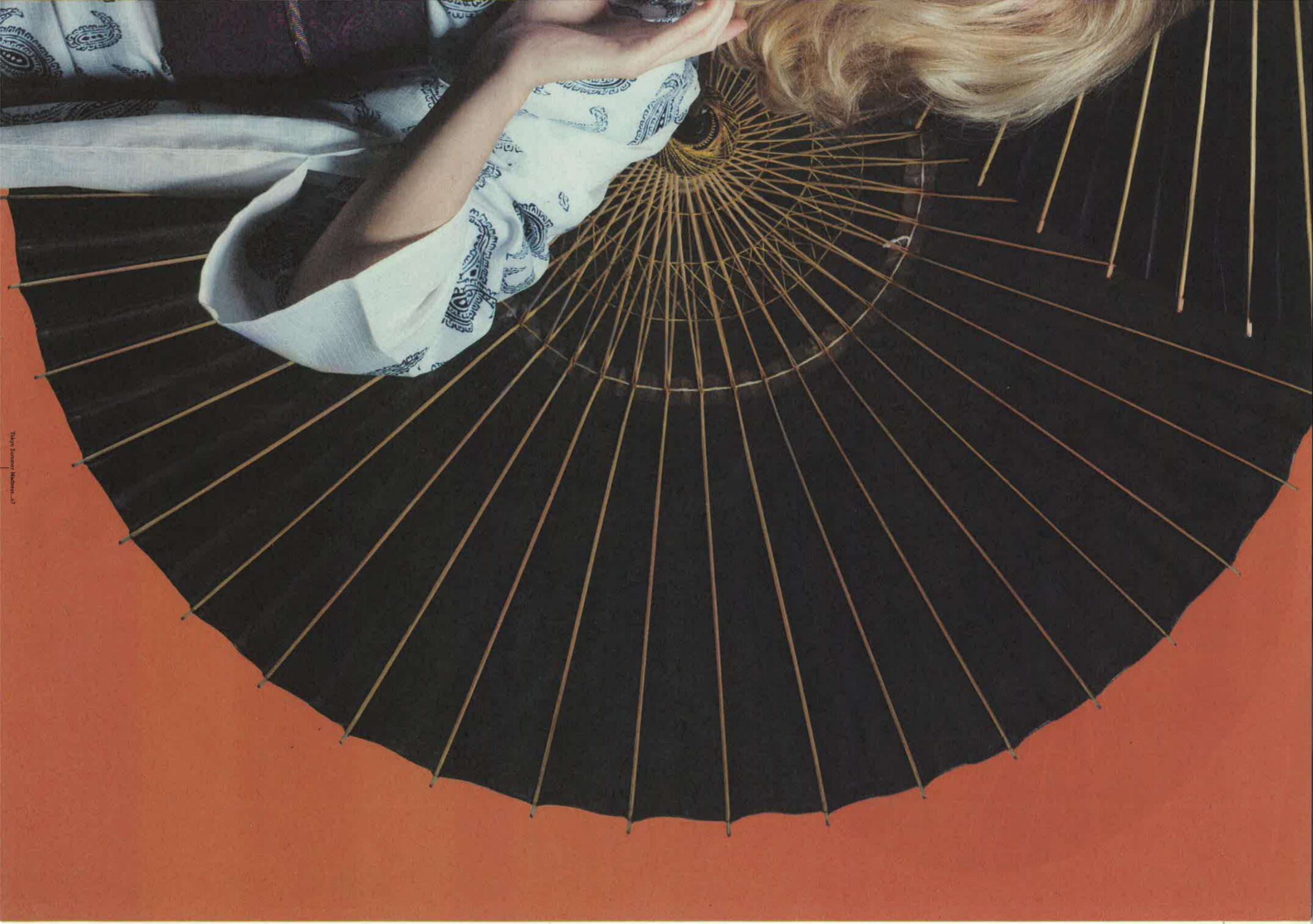
雑誌 CM、テレビ、ファッション等を手掛ける

2012A W ENGLATAILOR by GB をスタート



骨の本数が60本ある扇子を“60間”と言い、
扇中の材質を揃え、正確に漉く削ぐ技術を
要するために高級品とされている。
平安貴族文化に端を発し、涼をとると
いふだけでなく、儀式の際は位をまじり、
舞や落語の小道具としても
必然的に使われてきた伝統が、一分の
隙もなく広がる、閉じた姿さる美しい。
〈新栄清堂〉扇子：7,350円
新宿店本館7階＝奥座







“

首元に小さいスカーフを挿んだら、
着物と洋服のミックスをすれば
可愛いのではないだろうか。
帯留めの中心にイヤリングを挿んだり、
手にはクラッチバッグを持たせて。
It will be cute if we could mix KIMONO
and something like wearing a tiny neck scarf.
Or maybe putting an earring
on the OBI-DOME [decorative rope for OBI]
and clasping a clutch bag

”



G.V.G.V.

ゆかたを作るお話を頂いたときに考えたのは、自分のブランド「G.V.G.V.」とかけ離れないものと日本が持つ技術を融合したものだ。そうすれば自分が表現したい“ゆかた”というものが出来ると思っています。絹に使用したペイズリーは、今年の秋冬コレクション用に制作したもので、伝統的なものと現代的なところを上手くミックスできたと思っています。
パーチなどでは“ゆかた”をあえて着ていくような機会がもともと増えてもいいのではと思っています。夏祭りなどだけでなく、普段洋服を着るようなシチュエーションでゆかたを身に付ける。若い人達ももっと感覚的に、簡単にドレスに着れるようにできればいいと思います。
首元に小さいスカーフを挿んだりして、着物と洋服のミックスをすれば可愛いのではないだろうか。帯留めの中心にイヤリングを挿んだり、手にはクラッチバッグを持たせて。下駄を制作したのは足元にはヌード的な感じのものを合せたいなと思っただけです。

ゆかた: 39,900円
〈綿100%/M/他組展開〉
帯: 18,900円〈表地: 絹71%・ポリエステル29%/
裏地: 麻100%/他グループ展開〉
下駄: 12,600円
新宿店本館1階=サタ-シ-ウイ-ショー-ウイ-



Profile:
G.V.G.V.
デザイナー: MUG
7ミニオンと7スキャンリンの同居する
オリジナルな世界観を自由に発想し、
毎シーズンコンセプトとして構築する。
最も注目を浴びる東京ブランドの一つ。



美人画で知られる大正時代の画家、
竹久夢二の植物をモチーフとした
染め上げた。夢二は日用品のデザインにも
力を注いだ。クラフトデザインとの
先駆者でもあり、日々の暮らしの中にある
モチーフを使った大胆な組み合わせの
カラーパレットは時代を超える。
綿ふるしきは丈夫なだけでなく、使い込
びに味わいが出る。ペタンクと共に持ち
運び、必要な時に使えるサマンサ
(すず美)ふるしき:2,100円(綿100%約90×90cm)
(someco)ふるしきペタンク:1,890円
新宿店本館7階=呉服

ゆかたに憧れて、昔日本のご披露に買った記憶があります。ただ着る機会が無く、今でも大切に保管しています。

日本の伝統である「着物・浴衣・甚平」等、直線が作る美は素晴らしいと思います。すし、メンズではブランド当初から甚平等と作っています。

今回のプロシエクトでは「ゆかた」というクラシックなアイテムに、とれた今の雰囲気やフランスでできるかにこだわってデザインしました。

正直、黒は重いかたと思いましたが、フランスやインド、ジャズを象徴するカラーだと思い、使用させてもらいました。仕上がりははとも満足しています。

そしてゆかたに合わせる帯ですが、和の要素の中に英字を入れる事により、現代的に少し変わったのではないかと思います。

今は「ゆかた=花火大会」のようなイメージが強いアイテムですが、柄やデザインの仕事で今後はもっと自由にクラクションとしてのアイテムになる可能性を持っているのだと思います。日本文化の代表的な文化である「ゆかた」は、ブランドを始めた当初からずっと作りたいと考えていたもので、今回のイベントに参加でき大変光栄だと思っています。一人でも多くの方に気に入って頂けたら嬉しいです。

ゆかた: 50,400円(絹100%/M-L)
帯: 21,000円(表)・エスラール100%

刺繍糸: ナイロン糸(使用)

※下駄: 24,150円(別途紹介いたします)

卸売店本館1階=サ・スチーゾ/
メンズ・レディース・チャイルド

Profile:

Mastermind JAPAN

デザイナー: 本間正章

[Love & Peace を掲げ、上質なオックスフォード生地を使用、「The Best」を目標し、日本の素材、伝統技術、ハイテクローンを

コンセプトとして世界発信

“

日本の伝統である「着物・浴衣・甚平」等、直線が作る美は素晴らしいと思います。メンズでは、ブランド当初から甚平等と作っています。

The straight lines in traditional

Japanese KIMONO, YUKATA and JINBEI
[men's informal short kimono for summer]
are beautiful, and we've made JINBEI
since starting our men's brand.

”



WACKO
MARI
A

水玉って簡単過ぎたかなと思ってるけど(笑)
ただ自分が着るんだっただけかなと。
水玉は自分の所の定番で、白とピンクを
使ったのは50sぽさを出したかった。
それにレタリングを入れ、ジャケットの襟によく使う
シルクで帯を作ったら格好いいかと。
I would choose polka dots although it maybe too simple.
Polka dots are one of our standards and
I wanted to bring out a 50's look with white and pink.
Then, add lettering and make
the OBI [sash] from silk commonly use
in jacket collars to make cool look.

”

今回の話きてまず自分を考えた。花火大会行って、散歩してその後イベントがあっで自分がDJするときにどんなの着るか。水玉って簡単過ぎたかなと思ってるけど(笑)ただ自分が着るんだっただけかなと。水玉は自分の所の定番で、白とピンクを使ったのは50sぽさを出したかった。それにレタリングを入れ、ジャケットの襟によく使うシルクで帯を作ったら格好いいかと。ただゆかたのままじゃ緩過ぎるから。それにサンダル履っていうスタイルは普段自分もどろたから。

この下にタンクトップとかVネックTを着て、パチパチハットに黒ぶち眼鏡、格好いいんじゃないかと思ふ。俺自身は花火大会しか考えてなかったけど、普通にゆかたとして、似合う奴はなんでも合わせて着て欲しい。

和服は詳しくないけど、和服の着方の粋ってのはうちと共通点がある。江戸時代は着物は裏地にはこだわってるのがあるでしょ?俺達のチームでも裏地にはこだわってる。チラ見せ。俺達実際は無地が大好きやから、表はシルクで裏がこだわってる。そういうのが男の粋だって感じてる。ベストラン入ってジャケット渡すときに裏がどう見えるかカッコいいかどうか、皆そんな気になんと思ふけど、俺は気にしてる(笑)。

ゆかた:60,900円(絹100%裾部分 [背中袖編]
:糸7ツリル100%・生地7センチ100%/
袴部分:絹100%(M・L他黒腰間)
帯:13,650円(絹100%)
新宿店本館1階=サ・スラー・シワ・コ・リフ



Profile:

WACKO MARIA

デザイナー:藤野 彦

2004年設立。衣と音楽、酒にハートをキーワードにしたデザインは国内外から注目を集める。別ラインで展開するチームワシンの数値も高い。

THE
PAI
PAR
G TO



GUILITY TTIES ADISE ITY KYO



学生時代は染織料だったので染物、織物といった日本の伝統工芸的なことも勉強していた。学生だことの影響はとでも大きく、ホワイトマウンテニアリングはハイテクな素材に振り切って考えていますが、単純な織物や染め物から派生したのともいえるので、今回のプロジェクトは原点に戻って考えられたというところはあります。

藍染めなど日本の伝統的な色合いが面白い、ネイビーやグリーンという色合いを軸に、そこに自分達の代表的なテクニカルに落とし込むというのが今回話を聞いたときに考えたことでした。思った以上にすばらしい出来。グランドショウで色をだしたことで気持ちいい青が表現できたと思います。

帯と雪駄に関しては自分達がいつも使っている山脈カモフラージュのよさを見えるものに雪が降っている雰囲気デットを細かくデザインしました。ランソングのスニーカーや帽子と合わせてもクラな感じにできるのではないかと思います。自分には娘がいて、夏にはビニラのゆかたを着て一緒に歩くとき、僕だけ洋服だったのり合っていたのが、今年からは親子で着られるといいと思います。

ゆかた:50,400円(綿100%(M-L))
帯:15,750円(表地:綿100%
裏地:ポリエステル100%)
雪駄:26,250円
新宿店本館1階=ザ・スタジオ
ホワイトマウンテニアリング

Profile:

White Mountaineering
デザイナー:相澤勲介
“服を穿るスタイルは全て
“フクロフネ”を掲げ、デザイナー、
実用性、技術の3つの要素を
一つの形にし、市場には
無い新しいものを創り出す。



“

ホワイトマウンテニアリングは

ハイテクな素材に振り切って考えていますが、
単純な織物や染め物から派生したのともいえるので

今回のプロジェクトは原点に戻って考えられたところです。

Although white mountaineering

uses high tech materials, it may be said that these new
materials are really derived from early,
simple textiles and dyed goods.

I think I've come back to the origin with this project.

”

“

いつも飽かしているインドアンジュエリーを沢山付けたら、
そういふんではないかと思う。ゆかただからといって
下にジーンズをはいたらいいかわからない。

ジーンズにTシャツ、サダ履いて、革をなんとなく巻いて。

It's good to wear a lot of Indian jewelry with YUKATA.

A good YUKATA combination is with jeans,
T-shirts, GETA [clogs], and leather roughly tied

”

TAKAHIRO MIYASHITA The Soloist.

今回のゆかたははらりとアメリカンな感じが
これはいいなと、ドラゴニアンの映画とか
で間違った日本が出てくるんじゃない(笑)
ああいうのができればいいかなと。前回の
ふろしきでも使ったバンダナ柄を使ったん
だけど、同じ柄れというか、縫きにしたかっ
た。帯にダイヤスエキンをもったのは俺
が革、ダイヤが好きだから。鹿の角がちな
人とバンダナの柄モチーフに成っている。
ダイヤは優しい、見た目も肌触りも。ハード
な革は着ないし好きじゃないから。それを
好きに巻いて下さいと、クールなく。

いつも飽かしているインドアンジュエ
リーを沢山付けたら、そういふんではないか
と思う。ゆかただからといって下にジーンズ
をはいたらいいかわからない。ジーンズ
にTシャツ、サダ履いて、革をなんとなく
巻いて。こういうのは何か特別なきに特
別な場所を着るようなものだと思ふんだろ
うけどまずそういうのを愛をなきやいけな
いんだと思ふ。思いつき頭はポニーテール
まっつてロカビリーみたいななんでもいいの
かもね。立ち方がエルザ・ス・コスプレの
ようにしてればとにかくいいんだよ。立ち
方が大事なんだよ。何か和服ってのは姿
勢がいい感じがするけど、姿勢悪いほうが
格好いいと思ふんだよね。ポチットに手
突っ込んで、猫背に。

和服というけどあんまり深く考をなくして
いいんじゃないかと思ふ。他所の国の人
がみたらゆかただっって洋服なのだから。

ゆかた: 39,900円
(綿100%・M・他黒展開)
番: 29,400円(他黒/他黒展開)
下駄: 15,750円
新宿店本館1階=サ・スラーシ/
タカヒロミヤシタソロイスト。



Profile:
TAKAHIROMIYASHITATheSoloist.

デザイナー: 宮下 貴裕
[NUMBER(NINE)] 脱退後一年の沈黙を破り、
2010年「Soloist, Inc.」を設立し、
TAKAHIROMIYASHITATheSoloist.と
して再び洋服作りを始動させる。

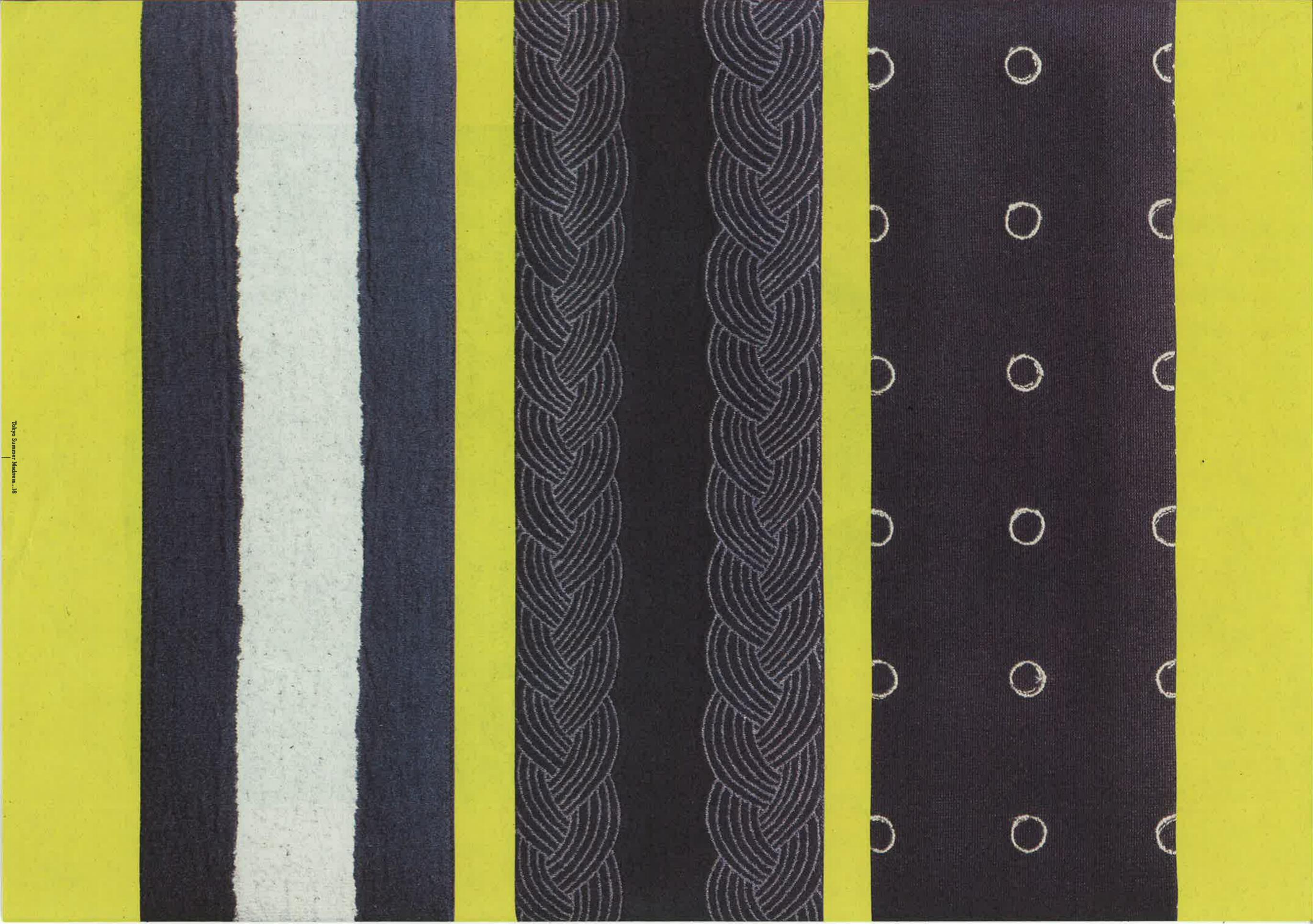


“

和装は畳めてコンパクトになるものです。そのしたものと並べたときになるべくコンパクトするように、スクエアな、丸みのないものを基本に考えました。それで職人さんや様々な人に話をきくと、年配のかたでもiPhoneをもっているけれど、カバンからすぐはものを取り出したいと聞き、外ポケットを付けたりしました。When KIMONO is folded, it becomes very compact. To match this image I created a square bag without any round elements. Then I interviewed craftsmen and other people about the bag and knew the need for a pocket to have quick access to things like iPhones.

”





和服というものを日常的に着る機会は今まではなかったのですが、一時期の夏、家で浴衣を着ている事がありました。洋服のデザインとして和服を形として作ったことにはありませんが、表と裏の対比や美意識については常に意識していますし、技法ではホタテ織 [絹の一種] を使ったテキスタイルを作っています。

今回のお話を聞いて考えたのが、男性用としてつくる上で派手さではなく、幾何学の中にも有機性を表現できるスタイルキーという柄でした。それを飽きのこない落ち着いた色目の中でコントラストやリズムを感じる配色にし、帯は織柄やレースでミナペルホネンらしいテキスタイルを用いてつくりました。

花水大会や地元の夏祭りの日などに着ても良かったり、夏の夕涼みに着てもらいたいと思っています。ゆかたというものはリラックス出来るし、祭りなどのハレの日にも着られる、気持ちに沿ってくれるものだと思っています。

【右頁】ゆかた: 39,900円 (絹100%・M~2L)
帯: 39,900円 (麻56%・絹44%/
バイブル: レーヨン100%)

【左頁】上から帯
drops: 36,750円 (絹52%・麻48%)
cull: 37,800円 (絹60%・絹40%)

Harry: 39,900円 (麻56%・絹44%/
バイブル: レーヨン100%)

新店店 本館1階=ザ・スレージミナペルホネン

Profile:

minä perhonen

デザイナー: 菅川明

minäは「私」、perhonenは「ちょうちん」を

意味するフィンランド語から、

ホリカールの図案によるグラフィック制作から

国内外の生産産地と連携し、服作りを行なう。

“

花水大会や地元の夏祭りの日などに着ても良かったり、夏の夕涼みに着てもらいたいと思っています。

ゆかたというものはリラックス出来るし、

祭りなどのハレの日にも着られる、

気持ちに沿ってくれるものだと思っています。

This YUKATA is for hometown summer festivals,

fireworks or just enjoying a summer evening.

We can relax in YUKATA as well as

enjoying celebrative occasions like summer festivals.

YUKATA is garment in touch with your moods.

”



SUMMER NEVER ENDS

日本の伝統技法である「注染」を、現代のライフスタイルに落とし込みながら新しいゆかたをどう眺み出すか？
日本画界の伝説、新たな着物のスタイルを作り続ける「ヨウジ」そして気鋭のきものデザイナーと人気MCが提示する、もう一つのゆかたの形。

How to fuse classical Japanese pour dyeing technique CHUSEN into modern lifestyle in creating new YUKATA?

Legend of the Japanese painting world, designer shop creating new KIMONO styles, popular MC, present another style of YUKATA.

ITO
YAKUICYU
【伊藤若冲】

日本で唯一、手摺本版本を刊行する出版社「芸圃堂(うんそうどう)」の京都本店が持つ伊藤若冲の草虫図の木型をゆかたに合わせ、京友禅の老舗「岡重(おかしげう)」がリデザインし注染で美しい黒色を表現している。レディースはシルバークラッシュの帯や紙のついた履物を、メンズは博多織ながらモダンな白の帯、足元にはスニーカーを合わせて斬新なスタイルに。



【写真左】
《伊藤若冲》紳士ゆかた:39,900円
《絹75%・麻25%(A・L)》
《無印良品》多織角帯:33,600円(絹100%)
【写真右】
《伊藤若冲》婦人ゆかた:39,900円
《絹75%・麻25%》
《レミコン》長足帯:9,450円(生地:エタケル100%)
《レミコン》草履:24,150円
新宿店本館7階=奥座



【写真左】
SU & KAWAI
YOSHIRO
 [SU & カワノヨシロ]

人気セレクトショップグループRIPSLIMEのMC(SU)と、斬新なアイデアで新しいきものを提案するデザイナー(カワノヨシロ)のコラボレーション。広島県福山市の藤原チキスタイルで作られた4.5オンスのチキスタイルの自生地を注染で染め上げるという業界初の試み。柄は、あえて古典柄のサセ型をチョイスした。帯は前で軽く結ぶのがSU流。クラフなど都会の夜に着て欲しいスタイル。

ゆかた: 34,650円(絹100%)
 帯: 9,870円(絹100%)
 すべて(SU×カワノヨシロ)
 新宿店本館7階=呉服

【写真右】
KURURI
 [くらり]

現代の暮らしに馴染むフレンチジョンとしての着物を提案する「くらり」。注染で染め上げたしだれ柳のゆかたは女性らしい古典柄ながら、鮮し色のバスマルカラーで今っぽくも見える。よきものの風にするならば、半柄をコーチノートしてもOK。ちっとオーセンティックに、でもかわいさも忘れない新しいスタイル。

ゆかた: 31,500円(絹85%・麻15%)
 帯: 16,800円(表: 絹100%・裏: 麻100%)
 帯留付三分種: 7,500円(絹100%)
 帯留部分: カラス / 下駄: 16,800円
 すべて「くらり」
 新宿店本館7階=呉服



ドイツの老舗ブランドはリバーターが個性
おしなれ上級者たちの愛用品。
(MAYSER)リバーター帽子:19,950円
新宿店メンズ館1階＝
セーター・カシミヤシャツなど



帯にのけられるボーターや両手を
フリーにしたい(くれる)カルタマーバッグを
け持ちあめんの技術を取り入れた素材で。
(ボーター)上ボーター:7,875円、
下カルタマーバッグ:12,600円
新宿店本館7階＝呉服

OLD BUT NEW

ゆかたを着てなし街を歩く。伊達眼鏡と洒落込んで、必要最低限のものを合切袋に突っ込み、頭にはハット、手にはストラップ。

足下には洗いさらしのスニーカーか、それともカララソカランとゲタを鳴らすか。

古今東西を織り交ぜた小物を自由に合わせる。それが東京、夏のスタイル。

Walking around town in smartly donned KIMONO.

Fashionable glasses, GASSAI BUKURO [knitknack bag], hat and a cane.

Vintage sneakers or the sound of GETA?

Coordinating freely with accessories from all times and places: That's Tokyo Summer Style.



リバーテリバーターを再現したストラップ。
黒檀(オオカミ)とタタミナツツボ(ドクロ)は
どちらも強度が強く、高級品とされる。
(ブライエ)オオカミストラップ:84,000円
ドクロストラップ:47,250円
新宿店メンズ館1階＝トレスシューズ・靴など



上:ブライエがしのかかりした定番の一品。
<セルケンソックス>ソックス:9,975円
新宿店メンズ館地下1階＝紳士靴
中・下:いずれもタタミソックスが斬新な2足。
<無松庵>雪駄:12,600円
<RunnRock>雪駄:24,150円
新宿店本館7階＝呉服

フロッグマンが人気の「オーパス1870」と香木を原料にした「スライシー」ではのびのびとした「フクロウ」。

左「スライシー」オーパストリート「オーパス1870」(50ml):12,600円、右「スライシー」オーパストリート「フクロウ」(100ml):24,570円
新宿店メンズ館1階=メンズアクセサリー



個性的な丸眼鏡や指名貴い多岐の「フナー」は、パナソニックと最高の相性。

上(増木眼鏡)メガネ:33,600円、中(G4)クラリアンオン付きメガネ:69,300円、下(フナー)メガネ:45,150円
新宿店メンズ館8階=オセロメンズウェア



世界的なパイプ作家「徳富博之」氏の作品と5年熟成のため葉を使用した「ジノ」の葉巻。

左(徳富パイプ)パイプ:126,000円、右(ZINO)葉巻 [ZP3101]:5,200円
新宿店メンズ館1階=メンズアクセサリー



夏らしい華やかな色味やホリューム感のある素材は、重ね付けして自分使用。

左/黄色(LINKS OF LONDON)
フレズレイト:105,000円、左/Fカラー(Ow)は
フレズレイト:13,650円、右/赤(DINH VAN)
フレズレイト:80,850円、右/F黒(CHAN LUU)
フレズレイト:24,150円
新宿店メンズ館1階=メンズアクセサリー



昔竹に流し込んで作られる職人技のしししし
水牛乳と抹茶チョコやホワイトチョコで
コーティングされたやさしい甘さのバウムクーヘン。

左から(仙太郎)の味:294円
(わ)オカ365 by アニバーサリー)BOOの味:各399円
新宿店本館地下1階=食料品



ゆかたの新しいコーデ「ネット」にして
挑戦していたハイカットの白スニーカー。

参考商品



オリジナルテキスタイルのふるしきは
四角形の模様に見取された「フナー」
(SOU、SOU)ふるしき上:3,150円
(綿100%)約113×113cm、
中:3,150円(綿100%)約113×113cm)、
下:1,050円(綿100%)約54×54cm)
新宿店本館7階=呉服



創業400年、初代徳田、園芳、広重など
浮世絵の版元として活躍した老舗の品。

(伊場仙)うちわ左:2,100円、右:1,150円
新宿店本館7階=呉服



自由な発想でつくられる現代の手ぬいこ
江戸時代の粋人たちに使われてます。

(清文様)てぬいA:8,601円
(かまおぬい)てぬいB:8,601円
(清文様)てぬいC:8,601円
(かまおぬい)てぬいD:1,260円
新宿店本館7階=呉服



EVENT INFOR MATION

[イベント紹介]

※ゆかたは、伊勢丹新宿店本館7階=呉服にて
8月20日[月]までで紹介いたします。



※画像はイメージとなります。

○本館1F=ザ・ステージ

「TOKYO SUMMER MADNESS “トーキョー・サマー・マッドネス”
または：私は如何にしてシャツを脱ぎ、ゆかたを着るようになったのか?」

◎会期：7月25日[水]～31日[火]
◎会場：伊勢丹新宿店本館1階「ザ・ステージ」
今回の伊勢丹のJAPAN SENSES「TOKYO SUMMER MADNESS」は、日本の伝統技術である「注染」を用い、国内外で人気を誇る10デザイナーによる新たな解釈でデザイナーズゆかたを展示・販売いたします。

○本館7F=呉服・催物場

「New Look, ISETAN YUKATA SELECTION 2012」

◎会期：7月25日[水]～30日[月]最終日6時終了 ◎会場：伊勢丹新宿店本館7階=催物場
古典からモダンまで、伊勢丹の2012年新作ゆかたを一堂に、催物場にて拡大してご紹介いたします。

「プロの着付講師によるゆかた着付けサービス」

◎会期：7月11日[水]～8月26日[日] ◎会場：新宿店本館7階=呉服
本年ゆかた・帯・下駄のいずれかお買いあげの方に先着予約制にてプロの講師「接客さも学院」によるゆかたの着付けサービスを承ります。
※参加費無料。※詳しくは係員までおたずねください。※セール品は対象外となります。

「ゆかたマイクアップサービス」

◎会期：7月25日[水]～30日[月]最終日6時終了 ◎会場：伊勢丹新宿店本館7階=催物場
本館1階の化粧品フロアで日替わりメニューを出展。ゆかたに合うカラーメイクの色のご提案や、ゆかたからビューティメイクのお直しのアドバイスなどをいたします。気に入った商品はその場で購入いただけます。

「Colette Malouf Accessories」

◎会期：7月25日[水]～30日[月]最終日6時終了 ◎会場：伊勢丹新宿店本館7階=催物場
N.Y.の女性デザイナー「コレット・マルロー」の2012 Summer Collectionを、ゆかたなものも取り入れられるヘアアクセサリーとともにご紹介いたします。

「SU[RIP SLIME]×カワイヨシロウ トークショー
SuRow派 トークライブ ～今年もゆかたを愛するワケ…!?～」

◎会期：7月29日[日]12時～ ◎会場：伊勢丹新宿店本館7階=催物場内特設会場
モデルや俳優としても活躍するSUとキミ/デザイナーのカワイヨシロウ。2人によるユニット「SuRow派」上での観点がゆかたについてお話をいたします。

「ゆかたで江戸の舟遊びツアーご招待」

◎8月6日[月]・8月9日[水] 各日10時～3時 各日先着10名さま 計20名さま
◎日本橋三越本店=正面入ロワイオン樓前集合
期間中(7月25日[水]～30日[月]最終日6時終了)ゆかたをお買いあげで希望の先着20名さまは「伊勢丹限定江戸の舟遊びツアー」に優待価格参加費：5,250円でご参加いただけます。※ツアー例：日本橋三越本店にて着付けサービス→日本橋から船で東京スカイツリーを眺めながら隅田川クルーズ→柳橋の料亭亀清楼で昼食→柳橋小松屋で閑茶を囲食→やげん堀大木亭からし店で七味唐辛子を囲食。※着付けサービスつき。※詳細は係員までおたずねください。

伊勢丹のJAPAN SENSES「TOKYO SUMMER MADNESS」の 全貌がわかるWEBサイトと、ゆかたショップイベント「ジヤンク」!

東京のクリエイティブシーンを牽引する「SIMONE」が担当
したTOKYO SUMMER MADNESSのWEBサイトでは各
デザイナーへのインタビュー映像など、リアルな情報が満載。
手配はゆかたのショップが楽しめるECサイトでは、
本紙では紹介していない商品の販売しています。 → www.isetan.co.jp/online
※7月25日[水]10時から

日本の染めと織りを知る。DVD・ブルーレイディスク発売中。

伊勢丹が、昭和30年代から40年代にかけて撮影した伝統的な「染め」と「織り」の技術を伝える貴重な映像。そこには、今では見る事が難しくなってしまった、森口華弘氏をはじめとする、後に人間国宝に指定されることになる先人たちの仕事ぶりや、伝統的な日本の染織を支え続けてきた市井の人々のひたひきな変化と華しさが美しい風景とともに映し出されています。これらを後世に遺し伝えたいと、DVD・ブルーレイディスクにまとめました。この国から失われつつある文化を明日へ、未来へとつなげていくことは、三越伊勢丹の使命であると思っています。

日本の染織編…「DVD」1,575,000円 「ブルーレイディスク」1,899,000円
製作・編集・発行=株式会社 三越伊勢丹 TEL. 03-3352-1111 大代表



ISETAN JAPAN SENSESについて

日本を見つめ直し、日本をもっと元気にするプロジェクト、日本にはしかない、日本だからこそ世界に誇れる美意識、技、伝統の価値をあらためて目を向け、それらに伊勢丹独自の解釈・視点を加えて新しいライフスタイルの形としてお客様にご提案していきます。



- ◎Planner: Kenichiro Asako...Isetan Mitsukoshi Ltd.
- ◎Producer: Yoshio Wakagi... DRUMCAN Inc.
- ◎Writing & Space Design: Kunichi Nomura...tripster inc.
- ◎Creative Director: Kaie Murakami...SIMONE Inc.
- ◎Art Director: Kazuki Higashi...Tg / Kaie Murakami...SIMONE Inc.
- ◎Designer: Kazuki Higashi...Tg / Kouki Nishikawa...Tg
- ◎Photographer: Masami Naruo [Model] / Yoichi Tsunoda...401 [Skill]
- ◎Stylist: Toshio Takeda [Model]...mild inc. / Yukiha Mizuhara [Model & Skill]
- ◎Hair & Make-up: Katsuya Kanno...moods hair
- ◎Wrting: Fumiko Teshiba ◎Production Assistant: Mia Takagi / Ai Nakai...SIMONE Inc.

※表紙・P19 (P5「属子」・P9「ふるしあ」)は後の商品のほか、本館1階=ザ・ステージでの販売となりますが、当日は大変混雑が予想されます。安全のため、人口の限定やお客様さまの入館を制限させていただきます。

※新宿店は、7月は休まず毎日夜8時まで営業いたします。尚、7月20日[金]・21日[土]は夜8時30分まで営業いたします。新宿店は、8月は朝10時30分閉店とさせていただきます。本館1階・地下1階は夜8時まで、本館地下2階・2階から7階・メンズ館は夜7時30分まで営業いたします。金曜日・土曜日は全館夜8時まで営業いたします。尚、本館7階=メンズ街1F-1のラヴィスは、通常通り朝11時から夜10時まで営業いたします。新宿店は、8月21日[火]・28日[火]は店舗休業日とさせていただきます。

- ◎発行 = 株式会社 三越伊勢丹 新宿区新宿3-14-1
- ◎電話 = 03-3352-1111 大代表
- ◎編集 = 株式会社 三越伊勢丹 営業本部 宣伝部
- ◎DIP = ISETAN MITSUKOSHI

ISETAN
www.isetan.co.jp